



児童の実態

- 安定した地域のため、穏やかで素直な児童が多い
- 少子化が進み、児童数の減少が見られる
- 学力の面では、思考力・判断力・表現力に課題があり、特に自分の考えを伝える力に課題がある

町の最重要課題 「学力向上」



生きる力の育成

目指す教師像

ポジティブに、夢や笑顔を支え、協働して取り組む教師

- 自己有用感を持ち、何事にもポジティブに協働できる教師
- 常に学び続け、児童に「できた」「わかった」と笑顔を与える教師
- 誰にでも笑顔で丁寧に接し、対応することができる教師
- 一人一人の児童に自己存在感・効力感を実感させられる教師

学校教育目標

かしこく なかよく たくましく

夢いっぱい、笑顔いっぱい、「ありがとう」が響き合う学校

令和7年度重点

- 1 学力向上 「しっかり教え、じっくり考えさせ、はっきり表現」
① 学習規律の徹底 ②国語科 学習用語の系統的指導 ③算数科 少人数指導の強化
- 2 人権尊重 「自他を大切にし、思いやりのある心をもった児童の育成」
① 人権的視点による道徳授業の研究 ②人権・道徳環境の充実 ③人権教育月間の充実
- 3 体力向上 「児童と共に活動しポイントを押さえた指導の充実」
① 集団規律の徹底 ②学習内容(めあて)の明確化 ③ポイントを押さえ一緒にやってみる

目指す児童像

夢に向かって協力し合い、たくさんの笑顔と感謝がある子

- 目標に向かって、笑顔で学び合い、粘り強くがんばる子(かしこく)
- 仲間と笑顔で協力し合い、「ありがとう」を大切にできる子(なかよく)
- 心と体の健康を整え、体力を進んで高められる子(たくましく)

学校研究課題

＜研究主題＞

「自他を大切にし、思いやりのある心をもった児童の育成」
～豊かな心を育む道徳授業の創造～



平成23年度優れた
『地域による学校支援
活動』推進にかかる
文部科学大臣表彰

5年総合「ライスでGO」米作り



目指す学校像

夢いっぱい、笑顔いっぱい、「ありがとう」が響きあう学校

- (児童)夢に向かって協力し合い、たくさんの笑顔と感謝がある学校
- (教師)常にポジティブに笑顔を支え協働して取り組む学校
- (保護者・地域)信頼され協働し、たくさんの笑顔と感謝がある学校

家庭学習時間(最小)

低 20分 中 30分 高 40分

ポジティブ

笑顔

具体的な活動

協働

感謝



読み聞かせ

学級経営の充実と確かな学力の定着

- 居場所のある学級経営
- しっかり教え、じっくり考えさせ、はっきり表現する授業の実践
- 学習規律・共通事項の徹底
- 学習用語の系統的指導(国語科)
- 少人数指導の強化(算数科)

知

人権教育

- 学校研究課題として全校で組織的・計画的に推進
- 人権教育の校内環境の充実
・校内、各クラスに人権コーナーの設置
- 人権月間(6・11月)の取組の充実
・サンクスの木、人権宣言、人権作文等の実施と見届けの徹底

徳

豊かな心を育む道徳教育

- 道徳教育の校内環境の充実
・校内、各クラスに道徳コーナーの設置
- 人権的視点による道徳の授業研究
・外部指導者の招聘
- 体験活動の推進
・米作り・福祉活動・自然体験等
- 読書活動の推進

体

健やかな体づくり

- 集団規律の徹底
・わくわくタイムで全校指導
- 学習内容(めあて)の明確化
- ポイントを押さえ教師が共に活動
・やってみる⇒ひろめる⇒ふかめる
- 早寝・早起き・朝ごはん運動
- ・学期始め1週間 担任の声掛け重要

積極的な生徒指導

- 生徒指導委員会を毎月全職員で実施
- 生徒指導報告会学期毎に実施
- 報連相・ケース会議等組織で対応

教育相談

- 保護者面談の積極的・計画的実施
- SC・巡回相談の効果的な活用
- 生徒指導主任・特別コーディネーターとの連携

特別支援教育

- 特別支援委員会を毎月全職員で実施
- 特別支援報告会学期毎に実施
- 教育相談(SCを含む)の積極的活用

家庭、地域と絆を深める

- 開かれた学校づくりを推進
- 安心・安全な学校づくり
- 安全教育、安全管理を徹底し、安全な行動がとれる児童の育成



明治7年開校
東児玉小学校
おかげさまで、
地域に支えられ、
創立151周年

